

北海道スマート農業SUMMIT2022開催レポート

2022年11月15日、札幌市白石区にあるアクセスサッポロにて「北海道スマート農業SUMMIT2022」が行われました。サングリンググループが事務局を務めるスマート農業共同体(SAc)とSAc会員のマイナビが共催したイベントで、今回は3年ぶり2回目の開催となりました。イベントには、生産者、農業関連企業、学生など約926名もの人々が参加。会場には北海道副知事 土屋俊亮氏が駆けつけ、開会挨拶を行いました。一日中、熱気に包まれた会場の様子をレポートします。



■ 北海道スマート農業 SUMMIT2022 概要
【開催日・会場】 2022年11月15日(火)10:00~17:00 アクセスサッポロ
【主催】 スマート農業共同体(SAc)
【共催】 株式会社マイナビ 農業活性事業部
【後援】 北海道・北海道総合通信局・一般社団法人北海道農業機械工業会



Report 2 PR講演・セミナー

午前3回、午後5回と合計8回のPR講演・セミナーが行われました。初回の講演前には、会場を訪れた土屋俊亮北海道副知事が開会挨拶を行い「SDGsにも関わるスマート農業をぜひ実現し、北海道の農業をもっと豊かなものにしてほしい」とスマート農業への期待を話されました。各講演では、スマート農業のさらなる発展やSDGs(持続可能な開発目標)の実現などをテーマに、民間企業をはじめ、生産者、研究機関などさまざまな分野のエキスパートがその技術や取り組みを発表。参加者は熱心に耳を傾けていました。どの

回も開始前からたくさんの方が集まり、あつという間に満席に。デスタンスを保ちながらも、立ち見をする人も出るほど、盛況となりました。コロナ禍での開催という点もあり、今回は座席の消毒や換気のために2つの会場を使って交互に講演を実施。演台には飛沫防止用のビニールシートを設置するなど、感染対策をしっかりとした上で開催されました。



開会挨拶を行う土屋副知事

【PR講演・セミナー一覧】

- ◆ 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
 (テーマ)明日の農業を考える～宇宙活用による可能性～
- ◆ テラスマイル株式会社
 (テーマ)国内農業デジタル化の動向とテラスマイル活動計画
- ◆ 株式会社前川総合研究所
 (テーマ)持続可能な農業に向けた共生微生物の活用技術について
- ◆ NASKEO環境株式会社
 (テーマ)酪農家向け小型バイオガス技術のご紹介
- ◆ ANVIAN INTERNATIONAL株式会社
 (テーマ)ミラクルを起こしてみないか?精度40度の桃を作った男が語る
- ◆ ソフトバンク株式会社
 (テーマ)露地で収量1.6倍、施設で反収80万円向上のヒミツ
- ◆ ワークスマイルジャパン株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社
 (テーマ)生産者の生産性向上を実現するICTソリューション
- ◆ 株式会社マイナビ
 (テーマ)運営事務局による特別セミナー

Report 1 ブースエリア

屋内展示場では38もの企業がブースを構え、来場者を迎えました。開場時になると、道内外から訪れた生産者や農協関係者、農業関連企業の方々などが次々に入場し、場内は一気ににぎわいました。出展企業は、自社の商品や技術を映像やパネルによってPR。サンプルを配布したり、商品の試着を勧めたりと、来場者の心を掴む商談を行っていました。また、大型の製品などを展示する商品ディスプレイブースには、各社自慢のトレンドアイテムがずらり。来場者は商品を間近に見ながら出展者の話に耳を傾けていました。午後になってからも客足は絶えず、盛況は閉場まで続きました。



来場者の声
 山本農園(伊達市)
 やまもとけんいち
山本健一さま
 普段なんとなく使っている土壌改良剤の使い方を再確認できました。メーカーの方と直接話せるのは良いですね、勉強になることばかりです。スマート農業技術はすでに導入していますが、各企業の最新の技術に触れ、刺激を受けています。

Report 3 機械実演

アクセスサッポロ正面の屋外展示場に設けられた機械実演エリアに、サングリングループは出展。XAG社製の農業用無人車「R150」を用い、水を農業に見立てて農薬散布のデモ走行を行いました。R150は、物資の運搬や牽引、薬剤の自動散布ができる優れたもの。生産者の作業負担を軽減し、さまざまな場面で農作業を支える存在として大きな期待が寄せられています。寒い中でしたが、午前1回・午後3回行われた実演には、たくさんの方が集まり、自動走行の様子を見学していました。



Report 4 ドローン体験

出展企業のブースが並ぶ屋内展示場には、参加者が気軽にドローン操縦を体験できるドローンサッカーブースも設けられました。体験は全10回行われ、延べ約50名の方が参加しました。体験者はネットで囲われたコートの外からドローンを操縦。サングリンググループの一員・スカイテックドローンスクールのスタッフがサポートし、ドローンの面白さを伝えました。初めてドローンを操縦したという体験者からは、「難しいけど楽しい!」という声がかげられました。



イベントの詳細は、北海道スマート農業SUMMIT2022の特設サイトにて公開しています。ぜひ、ご覧ください。

【出展企業一覧】
 マイナビ/渡辺パイプ/JA道央/日本仮設/ヤマハ発動機/ケイズネットワーク/ANVIAN INTERNATIONAL/NASKEO環境/オカモト/エイコーウェルネス/三菱ケミカルアグリドリーム/アリスライフサイエンス/アグロ カネシヨウ/アキレス/タキロンシーアイ/インフォファーム/ネクシーズ/サングリングループ/デンカ/丸和バイオケミカル/NTT e-Drone Technology/石原バイオサイエンス/日本曹達/住友化学/NDTS/シンジェンタジャパン/日本農業/OATアグリオ/安藤通商/佐鳥電機/日本カンタム・デザイン/サンホープ/NDIソリューションズ/ソニーセミコンダクタソリューションズ/ソニーネットワークコミュニケーションズ/ティンバー農園/ネクシス光洋/LINE WORKS/ソフトバンク
※ブースナンバー順、法人格略

出展者の声
 アキレス株式会社
 北海道営業所
 かんどうこうじ
神藤浩司さま
 当社はSAcの会員で、2019年の開催に続き出展しました。スマート農業SUMMITは意欲の高い生産者の参加が多いと感じます。今回は遮光剤を展示していたため、夏の暑さ対策に苦慮する生産者の皆さんに興味を持っていただくことができました。

株式会社
 エイコーウェルネス
 おがわらかかり
小川原香さま
小久保夏妃さま
 スマート農業SUMMITへの出展は今回が初めて。主力商品であるアシストスーツを展示しましたが、想像以上に反響が大きく、150部あったパンフレットは昼にはさばけてしまいました。道外の生産者の方も参加されていて、集客力に驚いています!

